



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	D-1-10
事業名	道路事業（市街地相互の接続道路等）
事業費	総額 2,128,674 千円（国費：1,702,939 千円） 内訳：調査設計費 65,000 千円 用地費及び補償費 40,000 千円 本工事費 2,023,673 千円
事業期間	平成24年度～平成28年度
事業目的	当該地区（北迫地区）は、下浅見川など、ほぼ全域で津波による被害を受けた。 これより、津波計画高さの見直しが実施され、南北にある浅見川や北迫川の堤防が嵩上げて復旧されることから、当路線も嵩上げが必要となった。 その、地形条件によって盛土構造となり、結果、今次津波における浸水区域の現地再建を可能とさせ、防災集団移転規模の縮減に寄与する道路整備となった。
事業地区	双葉郡広野町北迫（広野小高線）
事業結果	平成28年度供用開始 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>至 広野</p> <p>至 小高</p> <p>【工事前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>至 小高</p> <p>至 広野</p> <p>【竣工後】</p> </div> </div>
事業の実績に関する評価	① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 事業目的のとおり、当該地区における新たな土地利用に沿った道路となり、安全・安心なまちの復興再生を推進させるものとなっている。 ② コストに関する調査・分析・評価 再生材の活用や現場発生材を有効利用したこと、さらに橋梁タイプの決定においては、比較検討の上、採用したこと等から、事業コストは適切であったと評価できる。 ③ 事業手法に関する調査・分析・評価 ・ 想定した事業期間：平成24年5月～平成28年3月 ・ 実際に事業に有した事業期間：平成24年5月～平成28年11月 海岸堤防や河川災害復旧工事などの他工事との調整に不測の時間を要した。このため、関連する事業を含め、全体的なスケジュールを見直す必要が生じたが、他工事との工程調整を行い、円滑な事業進捗を図ることにより、類似事業と同程度の工程とすることができたことから、事業手法は適切であったと評価できる。
事業担当部局	福島県土木部道路整備課 電話番号：024-521-7476